



七松小学校 学校だより

平成30年度
3月号
尼崎市立七松小学校
学校長 森本秀子

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>



夢と希望を持って進学・進級を

— 山路来て 何やらゆかし すみれ草 (芭蕉) —

弥生3月、まだまだ寒さは厳しいですが、日差しが暖かくなってきました。鉢植えのチューリップの芽や、桜の蕾が大きくなって、春の到来を感じる今日この頃です。

先日の授業参観、懇談会には、多くの皆さまにお越し頂き、ありがとうございました。6年生がお家の方にお手紙を読んでいた。心温まるひとときに親子の絆、子どもたちの成長を感じました。また、他の学年も、それぞれ1年間の子どもの成長をご覧いただけたことと思います。できるようになったことをほめ、次への意欲につなげていただきたいと思います。

先日ある研究会で、絵本作家のきむらゆういち先生の講演を聞く機会がありました。有名な絵本『あらしのよるに』を書かれた方です。先生は、「絵本は、読み手が主人公(自分以外)に感情移入するため、人の気持ちがわかるようになる。10冊読めば10人の気持ちがわかるようになる」とお話をされました。納得するお話で、絵本の魅力、読書の大切さを再確認しました。本校では朝読書をしています。読書力向上の竹内先生、図書ボランティアのお母さま方にもたくさんの読み聞かせをしていただきました。これからも様々な機会を通して、子どもたちがすてきな本と出会い、心豊かに成長してほしいと思います。1年を振り返ると、音読集会では、全校生が力いっぱい音読し、体育館が揺れ動くような見事な声の調和に感動が広がりました。校内スピーチ大会や児童会選挙の時には、登壇者も聞く側の人も、しっかりと相手の思いを受け止め、言葉のキャッチボールができていました。教室や廊下には言語活動を通して作った作品がはってあり、互いに見合う姿もありました。今後も教育環境を整備し、学びに向かう力の育成に取り組みます。そして、未来を担う子どもたちには、言葉の力で、命を大切に作る心、平和を守る心を世界に伝え、広げていってほしいと思います。

いよいよ、まとめの月になりました。6年生はあと2週間ほどで卒業です。4月からの新しい出会いを大切に、明るい夢と希望をもって、それぞれの未来に向かって大きく羽ばたいていって欲しいと切に願っています。そして1年生から5年生も、残された日々が充実した学びの時期になるよう、頑張してほしいと思います。最後になりましたが、保護者、地域の皆さまには、1年間本校の教育活動に心強いご支援ご協力を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。またPTA役員の皆さまには、諸行事の折りに大変お世話になり、ありがとうございました。来年度も職員一同、全力で教育活動を推進してまいります。ご理解とご支援の程、よろしくお願いいたします。

〈 契沖顕彰短歌大会がありました。入賞した本校児童の作品の一部を紹介します 〉

- パチパチとたくさんの音きこえてるそろばんはじく大すきな音 (毎日新聞社賞)
- せんせいのおしごとぼくもやりたいなまるつけいえでれんしゅうちゅう (契沖賞)
- さかなつりつれたさかなはてんぷらでのこさずぜんぶいただきました (契沖賞)
- 食よくの秋と言うけどぼくの母年中いつでも食よく全開 (契沖賞)